

おかえりなさい！

3年ぶりに行動制限のない夏休みはどうでしたか？灼熱の太陽の下でボールを追い続けた野球部、9月のドローンパイロット資格取得のために自主練を行った1年生、AI甲子園を目指し地域課題の洗い出しを行ってきたAI部など、充実した夏休みを過ごしたことと思います。そんな**元気な皆さんに会えて「うれしい」と感じました。「お帰りなさい！」**。



さて、2学期始業にあたり「利他の心」について話します。この言葉は、ビジネスの場面でよく使われる言葉です。「利己の心」（自分だけ良ければよい）は、自己中心的な考え方で、誰からも協力が得られない結果になるばかりか、間違えた判断につながってしまうとされています。一方、「**利他の心**」（人に良かれ）は、より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周りの人のことを考えると良いということです。そうすると、**周りからの協力を得られ、視野も広がり、結果として予想以上の成果が出る**とされています。難しいと思いますが心がけることが大切です。自分**が当事者となったとき「樂をしたい」「面倒くさい」「自分には関係ない」ではなく、「困っている人がいる」「何が協力できる」「分かち合う」という心をもってください。**

2学期は、3年生（4年生）は進路活動がメインです。成果が出るまで時間が必要となる仲間もいます。最後の一人の進路が決定するまで、皆で頑張ってください。「自分だけが良ければよい」などと身勝手な考え方や、仲間を思いやれないことがないようにしてください。**進路活動は集団種目です。また、全学年で文化祭や検定合格・資格取得に向けた集団での挑戦があります。一人一人が応援され、応援する立場となりますので、「利他の心」をもって臨んでください。**

ぶらり、あらかう散歩

【全日制】「地域の課題をAI技術で解決」というテーマで思考を続けてきたAI部。Freeeのエンジニアの**「技術的な心配はしなくていい、作りたいものを純粋に探せ」**という力強い支援と、河野先生のファシリテートで歩みを続けています。その取組の一環として、荒川区産業経済部経営支援課長の石崎様に自分たちの課題設定について説明するとともに、荒川区の直面している課題等についてお話を伺いました。**時代や生活様式が変化することに伴い、直面する課題も移り変わっている**ことを認識し、「今、自分たちに何ができるか」と思考が深化し、更なる挑戦意欲の向上につながりました。



【定時制】3年生に「工業高等学校学習成果発表会にエントリーしてみないか」と熱いメッセージを投げかける中込先生（工業）と担任の鈴木先生。全員がやるならば「俺らが面倒みる」と頼もしい言葉。**自慢できる生徒と太鼓判を押しての投げかけ、どう応える。**荒工定3年生メンバー！挑戦の2学期の始まりです！力を合わせ挑戦だ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」